

◆競技ルール

- 1.本大会は、公益社団法人日本トライアスロン連合競技規則(JTU ルール)、一部国際トライアスロン連合競技規則(ITU ルール) 及び以下に定める競技規則に従い競技を行う。
- 2.本大会競技規則に定めない事項、事象が生じた場合は、大会実行委員会または技術代表・審判長がその取り扱いを決定する。
- 3.安全第一を優先し、気象条件、その他の条件等により、競技性及び安全が十分に確保できないと主催者が判断した場合には、競技開始以前または競技中であっても、競技内容の変更または競技の中止を行うことができる。

◆共通規則

1. 選手及び随行者は、社会人、スポーツマンとして節度ある態度で本大会に参加する。違法駐車、一般車両・通行人への通行妨害、ゴミの投棄及び違法キャンプの禁止、バイク乗車時のヘルメット着用、夜間の騒音等に十分注意し、開催地の地域住民やボランティアとの調和を図る。
2. 大会で定められた時間を順守し、遅れる場合は事前に連絡する。連絡なき場合は失格となることもある。
3. 選手は、大会規則及び道路交通法の定める交通規則とコースを理解して大会に参加する。コース離脱や交通違反に対する責任は、選手個人が負う。
4. 選手は、大会前日に健康状態をチェックしたセルフチェック用紙を提出しなければならない。
5. 酒気帯びや体調不良の状態での競技をすることはできない。酒気帯びの恐れがある選手に対しては呼気検査を求めることがあり、検査の結果、アルコール分が検出されれば競技に参加できない。
6. 選手は、規則で定められたウェア、競技用具を使用しなければならない。
7. 仮装は認めない。
8. レースナンバーは、ランでは前面に取り付け、めくれあがらないように取り付けること。折り曲げや変造は禁止 する。レースナンバーベルトの使用を認める。
9. 大会期間中、指定場所以外での物(ゴミ、ボトル、競技用品を問わず)の投棄を禁止する。ただし、競技中にあっては、スタッフに一声掛けて受け取りを依頼することを許容する
10. ランコースは通行規制を行わない、よって観光客優先とし走行する事。また、行動も交通規制を行わない、よって公道を走る際は交通法規を遵守し走行する事。コース上での事故や怪我においては大会は一切責任を負わない。
11. 制限時間及び関門時間を設ける。スイムの制限時間は1周 30 分とし、それ以内に通過できないものは2週目には行かせない。スイム関門対象でもスキップ希望者はランへ行ける「スキップ」制度を採用する。「スキップ」後のSTARTタイミングは計測主任の指示のもと行う。ランはエイド①11:00、エイド⑤12:00までの通過とし、それ以内に通過できないランナーは回収車へ収容する。競技続行が困難、競技運営に著しく支障があると主催者及び審判員が判断した場合、その選手に対してDNFを宣告する。DNF 及び自主リタイヤ選手はエイドステーションのスタッフに申告し、アンクルバンドを返却する。その後の行動はスタッフの指示に従うこと。
12. フィニッシュ地点以外でのアンクルバンドの返却 は、必ずスタッフであることを確認したうえで、スタッフに直接返却すること。紛失した場合は実費を弁償とする。
13. 小型カメラ、携帯電話、スマートフォン、音楽プレーヤーの使用は禁止する。ただし、スマートフォンは、距離計測器としての使用のみ認めるが、距離計測器以外としての使用は禁止する。使用した場合はペナルティの対象となることもある。
14. JTU ルールおよび、社会的マナーに違反した選手は、審判員の裁量によりタイムペナルティを科せられる場合がある。